

# 償却資産申告書 記載例

\* 前年度に申告された方は、住所・氏名及び取得価額を昨年の申告をもとに印字していますので、訂正・修正がある場合は、抹消線を引いた上、余白に正しい内容を記入してください。

令和6年度  
令和6年 月 日  
庄原市長 木山 耕三 殿

1. 住所  
住所、電話番号を記入してください。

2. 氏名  
氏名、ふりがなを記入してください。法人の場合は、名称と代表者氏名を記入してください。

令和6年度  
**償却資産申告書(償却資産課税台帳)**

個人番号又は法人番号  
右語めで記入してください。

3. 個人番号又は法人番号  
右語めで記入してください。

4. 事業種目(業種)を記入してください。  
5. 事業開始年月日(個人:設立年月日、法人:設立年月日)

6. この申告に該当する者の氏及び氏名  
この申告について直接申告できる方の氏名・電話番号を記入してください。

※ 所有者コード  
1234567891

住所: 広島県庄原市中央町一丁目10番1号 (電話: 0824-73-1144)

1 住所 (又は納税通知書送付先)

2 氏名 (法人にあってはその名称及び代表者の氏名)

3 個人番号又は法人番号

4 事業種目 (資本等の金額) □□業

5 事業開始年月日 平成4年4月

6 この申告に該当する者の氏及び氏名 (電話番号) 0824-73-1144

7 税理士等の氏名

※ 所有者コード 1234567891

8 縮刷用年数の承認 有・無

9 増加償却の届出 有・無

10 非課税該当資産 有・無

11 課税標準の特例 有・無

12 特別償却又は圧縮記載 有・無

13 税務会計上の償却方法 (定率法) 有・無

14 青色申告 有・無

8~14 該当する区分を○で囲んでください。

15. 庄原市内における事業所等  
資産の所在地を記載してください。

16. 借用資産  
借用(リース)資産の有無について、該当する方を○で囲んでください。借用資産がある場合には、貸主の名称及び連絡先を記入してください。

17. 事業所用家屋の所有区分  
該当する方を○で囲んでください。

18. 該当するものを○で囲み、次のような事項があれば記入してください。  
● 課税標準の特例を適用する資産、または、非課税資産等を所有している場合には、その届出書や添付書類の名称  
● 合併があつた場合には、合併日・合併法人名・被合併法人名等

資産の種類	取得価額		前年中に減少したもの(ロ)	前年中に取得したもの(ハ)	前年中に減少したもの(ロ)と前年中に取得したもの(ハ)の差(イ)-(ロ)+(ハ)	課税標準額(イ)
	前年中に減少したもの(イ)	前年中に取得したもの(ハ)				
1 構築物	4,302,000	700,000	400,000	3,602,000	3,602,000	
2 機械及び装置	8,100,000	1,200,000	300,000	9,300,000	9,300,000	
3 船						
4 航空機						
5 車両及び運搬具						
6 工具、器具及び備品	3,390,000	400,000	300,000	3,290,000	3,290,000	
7 合計	15,792,000	1,100,000	1,500,000	16,192,000	16,192,000	

前年中に取得したもの(イ)

前年中に減少したもの(ロ)

前年中に減少したもの(ロ)と前年中に取得したもの(イ)の差(イ)-(ロ)+(ロ)

課税標準額(イ)

15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地

16 借用資産 (有・無)

17 事業所用家屋の所有区分 (自己所有・借家)

18 備考(添付書類等) 該当する項目に○をつけてください。  
① 資産の増減あり ② 資産の増減なし ③ 該当資産なし  
4. 廃業・解散・転出等 (平成 年 月 日)

記入不要  
(電算により全資産申告する場合を除く)

前年中に減少したもの(ロ)  
令和5年1月2日~令和6年1月1日に減少した資産の取得価額を記入してください。

前年中に取得したもの(イ)  
前年度までに申告された方は取得価額が印字されています。

前年中に減少したもの(ロ)と前年中に取得したもの(イ)の差(イ)-(ロ)+(ハ)  
令和5年1月2日~令和6年1月1日に取得した資産の取得価額を記入してください。

# 種類別明細書記載例(増加資産がある場合)

\* 前年度までに申告された方は、新たに増加した資産を記載してください。  
 \* 今回初めて申告される方、電算により全資産申告される方は、全償却資産を記載してください。

令和6年度		所有者コード		個人番号又は法人番号*		所有者氏名		住所		枚のうち			
資産の種類		資産コード		個人番号又は法人番号*		株式会社 □□□□		株式会社 □□□□		枚			
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月 年号 年月	取得価額	(イ) 耐用年数	(ロ) 減価償却率	価額	(ハ) 課税標準の特例	課税標準額	増加事由	摘要
01	1		外構工事	1	4 22 6	1,002,000	15					1.2 3.4	
02	1		門扉	1	4 22 6	300,000	15					1.2 3.4	
03			構築物合計			1,302,000						1.2 3.4	
04	2		太陽光発電システム(中本町一丁目15番地1)	1	4 24 6	3,800,000	17					1.2 3.4	
05			機械設備合計			3,800,000						1.2 3.4	
06	6		陳列棚	10	4 12 6	600,000	6					1.2 3.4	
07	6		複合機	1	4 12 7	640,000	5					1.2 3.4	
08	6		冷蔵庫	2	4 13 8	700,000	6					1.2 3.4	
09	6		応接セット	1	4 15 9	300,000	8					1.2 3.4	
10			工具器具、備品合計			2,240,000						1.2 3.4	
11													
12	1		ファン	1	5 4 8	300,000	10					1.2 3.4	令和5年度申告もれ
13	2		真空包装機	1	5 5 2	1,200,000	8					1.2 3.4	附則第15条第45項先備設備
14	6		応接セット	1	4 8 9	300,000	8					1.2 3.4	令和5年7月 三次支店より
15												1.2 3.4	
16													
17													
18													
19													
20			小計			9,142,000							
						7,342,000							

**記入不要です**

【耐用年数】  
耐用年数を記入してください。

**【取得価格】**  
取得価格は、資産を取得するために通常支出すべき金額(当該資産の引取運賃、荷役費、運送保険料、購入手数料、関税、据付費、その他直接要した費用を含む)をいいます。消費税の取り扱いについては、会計上選択されている経理方式に合わせてください。  
 ・圧縮記帳は固定資産税の申告では認められていませんので、当該圧縮額を含めた実際の取得価額を申告してください。

**【増加事由】**  
該当する増加事由を○で囲んでください。  
 1=新品取得  
 2=中古品取得  
 3=異動による受け入れ  
 4=その他  
 3の場合、摘要欄に異動前の所在を記入してください。  
 4の場合、摘要欄に理由を

**【取得年月】**  
年号は、以下の数字で記入してください。  
 3: 昭和  
 4: 平成  
 5: 令和

増加した資産の名称、数量、取得年月、取得価額、耐用年数を記入してください。

**【資産の種類】**  
以下の数字で記入してください。  
 1: 構築物(建物附属設備含む)  
 2: 機械及び装置  
 3: 船舶  
 4: 航空機  
 5: 車両及び運搬機  
 6: 工具、器具及び備品

**【摘要】**  
・課税標準の特例適用がある資産については、その適用条件を記入してください。  
 ・その他、特記事項を記入してください。

注意 「増加事由」の欄は、1新品取得、2中古品取得、3移動による受け入れ、4その他のいずれかに○印を付けてください。

# 種類別明細書記載例（減少資産がある場合）

令和6年度

* 所有者コード		個人番号又は法人番号*		所有者氏名		枚のうち	
資産の種類		資産の名称等		種類別明細書（増減資産・全資産用）		枚目	
行番号	資産コード	取得年月	取得価額	価額	課税標準額	増加事由	摘要
		年号	年 月	(イ)	(ロ)	(ハ)	
		量	量	取得価額	減価残存率	額	
						の特例	
						率	
						コード	
01	1	1	4 22 6	750,000	10		1.2 3.4
02	1	1	4 24 7	1,250,000	15		1.2 3.4
03	1	1	4 24 7	<del>700,000</del>	<del>20</del>		1.2 3.4
04				<del>2,000,000</del>			1.2 3.4
05	2	1	4 19 10	1,800,000	10		1.2 3.4
06	2	1	4 23 10	2,000,000	7		1.2 3.4
07	2	1	5 4 10	500,000	7		1.2 3.4
08				4,300,000			1.2 3.4
09	6	1	4 24 10	350,000	6		1.2 3.4
10	6	1	4 24 10	<del>400,000</del>	<del>6</del>		1.2 3.4
11				<del>800,000</del>			1.2 3.4
12				<del>750,000</del>			1.2 3.4
13				<del>1,150,000</del>			1.2 3.4
14							1.2 3.4
15							1.2 3.4
16							1.2 3.4
17							1.2 3.4
18							1.2 3.4
19							1.2 3.4
20							1.2 3.4
小 計				<del>7,050,000</del>			
				<del>8,150,000</del>			

庄原市

\* 資産の減少、修正がある場合は、次の要領で修正してください。  
\* 資産に変更が無い場合は記入不要です。

**記入不要です**  
資産が減少した場合は、二重線で抹消し、減少後の合計額を記入してください。  
摘要欄に除却年月と理由を記入してください。

**記入不要です**  
資産の一部が減少した場合は、変更後の数量、取得価額を記入し、摘要欄に理由と年月を記入してください。

注意 「増加事由」の欄は、1新品取得、2中古品取得、3移動による受け入れ、4その他のいずれかに○印を付けてください。